

2020年3月期2Q		
連結経営成績		対前年比
売上高	8,293百万	△13.3%
営業利益	△65百万	—
経常利益	△62百万	—
当期純利益	△111百万	—

経営環境

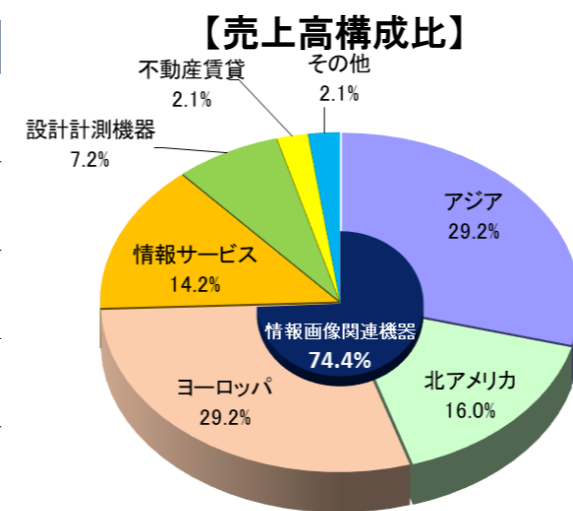
☞世界経済は堅調に推移していますが、米中貿易摩擦問題や欧州における英国のEU離脱問題など不安定な状態は続いており、国内経済では製造業の生産活動の減少、為替の円高基調、輸出の伸び悩みにより景気に足踏み感がみられます。  
☞このような状況の中、大判インクジェットプリンタ事業においては、成長分野と位置付けるインダストリアル市場を対象とした新製品開発を進めております。  
業績面では、競争激化による製品価格の下落圧力、ユーロの円高傾向の影響などにより減収となり、原価改善、経費削減を行いました。減収となりました。

期中平均為替レート比較		
	実績	前年差額
US\$	108.60円	△1.66円
EUR	121.40円	△8.38円

経営成績		
売上高	△1,268百万	☞主に、主力製品大判インクジェットプリンタ事業において、製品価格下落の影響を受けました。
売上総利益	△379百万	2,777百万 (原価率: 前年67.0%⇒実績66.5%、0.5%の良化) ☞売上高の影響により減少も収益性向上施策の効果が表れはじめています。
販売費・一般管理費	△211百万	2,843百万 ☞販売費△178百万、一般管理費△33百万減少(開発費は+47百万円)によります。
営業利益	△166百万	☞原価改善、販管費削減に努めたものの売上減少の影響から減収となりました。
経常利益	△211百万	☞為替差損益△22百万円の計上、前年度、受取和解金の収入32百万円の計上
当期純利益	△316百万	☞前年度、固定資産売却益39百万円、投資有価証券売却益1億16百万円の特別利益の計上。今年度、投資有価証券評価損8百万円の計上等により減少しました。

セグメント情報	
アジア	☞米中貿易摩擦等の影響を受け減収減益となりました。
北アメリカ	☞主に市場環境の激化による製品価格下落の影響を受け減収減益となりました。
ヨーロッパ	☞上記北アメリカ要因に加え、ユーロの為替の円高影響により、減収減益となりました。
情報画像関連機器計	☞総じて、製品価格下落等の影響を受け、原価率の改善、経費削減をしたものの減収減益となりました。
情報サービス	☞収益性向上取り組みにより増収増益となりました。
設計計測機器	☞収益性向上施策の取り組み販管費の削減等により増収増益となりました。
不動産賃貸	☞賃料値上げ、販管費削減等により増収増益となりました。
その他	☞販売は減少したものの構造改革取り組みにより増益となりました。

財政状態		
総資産	28,677百万 △230百万	☞主に、流動資産の減少要因によります。
流動資産	15,297百万 △978百万	☞主に、配当金、設備投資などによる現預金の減少7億1百万円と販売減による売上債権の減少3億60百万円によります。
固定資産	13,380百万 +748百万	☞主に、諏訪工場の耐震補強工事3億89百万円、新基幹システム投資1億53百万円、金型投資その他による2億30百万円の増加要因によります。
負債合計	6,845百万 +210百万	☞流動負債で買掛債務1億16百万円減少、前受金3億11百万円の増加、固定負債で会計基準の変更によるリース負債の34百万円計上等によります。
純資産	21,831百万 △441百万	☞主に、当期純損失の計上と株式配当金支払い等により株主資本2億70百万円の減少と評価換算差額合計額1億37百万円の減少他によります。



事業・地域区分	売上高		セグメント利益	
	金額	前年比	金額	増減額
アジア	2,418百万	△22.3%	△144百万	△224百万
北アメリカ	1,322百万	△22.6%	△19百万	△61百万
ヨーロッパ	2,420百万	△13.6%	△16百万	△72百万
情報画像関連機器計	6,160百万	△19.2%	△179百万	△357百万
情報サービス	1,174百万	+14.3%	122百万	77百万
設計計測機器	594百万	+8.1%	134百万	47百万
不動産賃貸	174百万	+12.1%	118百万	15百万
その他	188百万	△7.9%	0百万	24百万
調整			△260百万	25百万
連結合計	8,293百万	△13.3%	△65百万	△167百万

キャッシュ・フローの状況 (2019年4月~2019年9月)		
営業活動	+92百万	☞減価償却費の計上、売上債権の減少、法人税等還付および受取利息などの増加要因と、税金等調整前当期純損失の計上、たな卸資産の増加、法人税等の支払いなどの減少要因の差し引きで増加となりました。
投資活動	△517百万	☞主に有形・無形固定資産および投資有価証券の取得による支出になります。
財務活動	△216百万	☞主に株式配当金の支払いによります。
現金同等物の期末残高	7,400百万	☞主に、上記活動要因に加え、換算差額59百万円減少により2019年3月末対比7億1百万円の減少となりました。

業績予想 および 配当予定				
業績予想(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期 (2019年5月公表)	19,800	140	150	100
先行き不透明感の強い経営環境から不安定な要素が多く、現時点では前回公表値を据え置いております。今後、業績動向等により修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。				
配当予定(円)	第2四半期末	期末	年間	前年増減
2020年3月期(予想)	—	35.00	35.00	±0.00